

## 中国の記事から（畜産）

---

2006年9月30日号

### 目次

◎国家質検総局「乳製品合格率は65%」

【国際商報 2006年09月22日】

◎乳製品大手の蒙牛乳業、北京小学校20校に牛乳無償提供

【市場報(人民日報主筆) 2006年09月26日】

---

◎国家質検総局「乳製品合格率は65%」

【国際商報 2006年09月22日】

国家質検総局(国家質量監督検閲検疫総局。製品品質を管理する)は、広東省、浙江省、吉林省、河北省、北京市、天津市、遼寧省、河南省ら18省(直轄市)の乳製品メーカー160社の223製品を対象に行った品質サンプリング検査の結果を発表、合格率は65.5%となったことを明らかにした。

不合格製品では、使用が禁じられているグリシンが検出される問題が目立っている。製品が低品質とされたのは中山好益佳食品有限公司、河南省沃爾瑪飲料有限公司、中山日威飲料廠、天津市恒安食品商貿有限公司、長春經濟技術開發秦氏食品廠、中山市綠色伊甸園食品有限公司、黒龍江省蜂蜜神飲品有限公司、中山市珠江飲料廠有限公司、長春市キキ食品有限責任公司、大連九羊食品有限公司、深セン市喜之康飲料有限公司、北京市日晨ダイ制品有限公司、北京聚福乳品廠、吉林省金財乳業有限公司など14社である。今回の検査で、20社が不合格製品を回収している。

---

◎乳製品大手の蒙牛乳業、北京小学校20校に牛乳無償提供

【市場報(人民日報主筆) 2006年09月26日】

乳製品大手の蒙牛乳業股分有限公司(蒙牛乳業)が、全国の小学校500校の児童に1人毎日500グラムの牛乳を無償提供する事業が15日、北京地区で本格スタートした。北京市の小学校20校の児童へ牛乳を1年間の無償提供していく。2005年の全国1人あたりの牛乳消費量は世界

平均の20%の21.7kgにとどまっている。北京市でも毎日牛乳を飲む児童は全市の41.8%、このうち1日の飲用量が200ml以下の児童が全体の30%を占めている。特に貧困地区の児童の飲用量が少ない。蒙牛乳業は無償提供を通じて牛乳普及を図っていく。同事業には1億元を投じていく。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。